

ふるさと

第43号

令和5年(2023年)
2月発行

白石区ふるさと会会報

白石区ふるさと会では、白石区を人情味と風格あふれる素晴らしいまちに育てるため、地域密着型のイベント事業を行うとともに、各地区の文化体育事業、青少年健全育成事業への助成を行うなど、さまざまな活動を行っております。令和4年度も会員の皆さまからの会費やご寄付により、様々な活動を行うことができましたので主な活動をご紹介します。(ふるさとまつり等一部の事業は新型コロナウイルス感染症の影響により中止・縮小しております。)

ふるさと会活動報告

～CSR活動*の一環としての～ でっち奉公受入企業募集中

～地域の子どもを地域で育てる～

子どもたちにとって、普段、学校や家庭ではできない貴重な体験となります。

白石区ふるさと会では、引き続き就労体験事業を行ってまいります。会員企業様のCSR活動の一環として小中学生を受け入れてみませんか？

お問い合わせは事務局(白石区市民部地域振興課 電話861-2422)まで。

※CSR活動:企業の社会的責任(corporate social responsibility)を踏まえた活動。地域社会への貢献や地球環境に配慮した取り組みなど、さまざまな活動が含まれます。



今後も引き続き実施する予定ですので、皆さまもぜひご協力をお願いいたします。

当初、2校70人でスタートしたこの事業は、会員の皆さまをはじめ、地域全体のご支援をいただいております。新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から令和2年度より本事業を中止していたため、3年ぶりの開催となりました。令和4年度は、区内中学校7校から約1200人の生徒が参加し、区内外の100以上の事業所の受入協力により実施いたしました。

当会は、「次代の白石を担う子どもたちに働くことの楽しさ、ふるさと白石の良さを知ってほしい」という思いから、平成13年度に「白石でっち奉公」を始めました。

～地域の中学生が就労体験～

白石でっち奉公

～地域の小中学生の作品を掲載～

児童・生徒創作広場 ななかまど

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、当会の活動も大きく制約を受ける中で、白石区内にある20校の小学校と8校の中学校から、ご賛同とご協力をいただきました。加えて、多くの企業からのご理解とご支援をいただいたおかげで、昨年度に続き第2号を発行できました。改めてお礼申し上げます。

『ななかまど』は、札幌市図書館、区内の図書館及び児童会館等に寄贈し、地域の方にも気軽に手に取れるようにいたしました。未永く児童・生徒の発表の場として、『ななかまど』が続くことを願っております。

白石区まち美化プログラム

～企業会員のCSR活動～

令和4年10月26日、11月9日の2日間、「白石こころーど(旧白石サイクリングロード)」約7.2kmの清掃活動を実施しました。会員企業・団体を含む38企業・団体の317人が参加し、収集したゴミや落葉は45ℓの袋に詰め、272袋となりました。

この「白石区まち美化プログラム」は、地域企業や団体と区役所が協働し、区内道路などの環境美化に取り組んでいるもので、当会では「白石こころーど」における清掃活動を春と秋に実施しています。

清掃活動中は、歩行者の方からねぎらいの声を掛けていただくなど、地域住民の方々と交流の機会ともなっています。

白石区中学生の主張発表会

～表現豊かに熱弁～

令和4年10月15日、白石区民センターで、「第53回白石区中学生の主張発表会」を開催しました。この発表会は、自ら考え発表する力を養ってもらうと、昭和45年に始まった歴史のある大会です。新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度は中止、令和3年度は事前録画による動画審査会及びウェブ開催としたため、実に3年ぶりに関係者が集まった開催となりました。

白石区内の中学校を代表した2年生、3年生総勢16名が、意見や提言を発表しました。

また、友好都市として交流を深めている宮城県白石市や交流都市の登別市からもそれぞれの地域で開催された弁論大会で優秀な成績を収めた中学生を招待し、4名に特別発表をしていただきました。

中学生達は、学校・家庭に限らず社会の出来事に対する多彩なテーマで熱弁をふるいました。

来場者からは、「発表を聞いた途端に涙が出た。」「自分の言葉でしっかりと発表していて素晴らしいかった。」などの声が寄せられました。

11月には3年生の部優秀賞の浅沼美羽さん（北都中学校）を白石市に派遣（最優秀賞の田村紬さんは都合により欠席）し、白石市立東中学校での交流や白石市長の表敬訪問など、白石区と白石市の友好を更に深めてきました。



3年生の部最優秀賞
田村 紬さん



白石城で「甲冑試着」体験

白石区制50年と都市間交流のつどい

～白石区制50年を祝う～

令和4年は、区制50年という節目を迎える年であり、ふるさと会として、これまでの白石区の歩みに思いをはせるとともに、宮城県白石市・登別市と育んできた関係をさらに深めるため、上記中学生の主張発表会と同じ10月15日に、区制50年を祝うつどいを札幌コンベンションセンターで開催しました。

つどいでは、白石区民のみならず、宮城県白石市や登別市の関係者も見守る中、白石区で大切に受け継がれてきた「白石音頭」が披露されたほか、川下公園で行われた片倉鉄砲隊による火縄銃演武の様子が紹介されるなど、ふるさと白石への想いを新たにする一日となりました。



さっぽろ雪まつり大雪像制作団体への激励

総務委員会では令和5年1月17日、雪まつり大通10丁目会場で大雪像を制作中のさっぽろ雪まつり大雪像制作委員会の皆さんを激励訪問しました。新型コロナウイルス感染症の影響により3年ぶりの訪問となりましたが、総務委員長から激励の言葉を伝え、出席した総務委員から、チョコ菓子とお茶を差し入れました。



大通 10 丁目会場では北海道ボールパークFビレッジの大雪像が制作されました

会長あいさつ



白石区ふるさと会会長の武藤です。

日頃から、当会の活動にご理解とご協力をいただき感謝申し上げます。

令和4年度は新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも、一部活動を再開することができました。また、白石区が誕生して50年という節目を迎え、今後の50年、またそれ以上の未来に向けて白石区の歴史を次世代に受け継ぐため、当会の活動もその一助となれるよう引き続き努めてまいります。

変わらぬ皆さまのご理解、ご厚情を賜りますよう、お願い申し上げます。

～白石区ふるさと会にぜひご入会ください～

会費を銀行振込または事務局へ持参していただくことにより加入することができます。詳しくは、事務局までお気軽にお問い合わせください。

なお、ご加入いただいた際は、白石区ふるさと会会員証（兼年会費領収書）を発行いたします。

〔団体会員：年会費 5,000 円から、個人会員：年会費 1,000 円から〕

区分	納入先	備考
銀行振込	北洋銀行 白石中央支店 普通口座 0381179 白石区ふるさと会会長 武藤征一（ムツマサヒ）	大変恐縮ですが、振込手数料は別途ご負担願います。
事務局への持参	下記（白石区複合庁舎4階総務企画課庶務係）までお願いいたします。	受付時間 平日 8:45～17:15

（問い合わせ先）白石区ふるさと会事務局（白石区市民部総務企画課庶務係）

所在地 札幌市白石区南郷通1丁目南8-1 電話 861-2405